

医療機関名	施設医療場
□ 医師執務所所在地	
□ 病院番号	
□ 患者の氏名	印　記載年月日：平成　年　月　日　　※自家薬丸印押のことで ※看護師は個人印押にて、看護師専用印押にて、看護師は上記のどちらかにて捺印した。看護師は看護師の印を用いて捺印しない場合はやむを得ない。

看護師は個人印押にて、看護師専用印押にて、看護師は上記のどちらかにて捺印した。看護師は看護師の印を用いて捺印しない場合はやむを得ない。
看護師は個人印押にて、看護師専用印押にて、看護師は上記のどちらかにて捺印した。看護師は看護師の印を用いて捺印しない場合はやむを得ない。
看護師は個人印押にて、看護師専用印押にて、看護師は上記のどちらかにて捺印した。看護師は看護師の印を用いて捺印しない場合はやむを得ない。
看護師は個人印押にて、看護師専用印押にて、看護師は上記のどちらかにて捺印した。看護師は看護師の印を用いて捺印しない場合はやむを得ない。

・看護師が丸印押にて捺印する場合は、看護師専用印押にて捺印する場合は、看護師は上記のどちらかにて捺印した。看護師は看護師の印を用いて捺印しない場合はやむを得ない。

127-1 前頭側頭葉変性症 ((行動異常型) 前頭側頭型認知症)

新規 更新

■ 基本情報

登録者番号	患者番号	姓(漢字)	姓(カタカナ)	姓(英字)
		姓(漢字)	姓(カタカナ)	姓(英字)
郵便番号	住所			
生年月日	西暦　年　月　日	性別	1.男	2.女
出生地町村				
出生時氏名	姓(漢字)　名(漢字)	姓(カタカナ)　名(カタカナ)		
家族歴	1.あり 2.なし 3.不明			
発症する親類なし又 2.母 3.子 4.同胞(男性) 5.同胞(女性) 6.祖父母(父方)				
7.祖父母(母方) 8.祖父(母方) 9.祖母(母方) 10.いとこ 11.その他 親類	()			
既往歴	年　月　年　月			
性別	1.男 2.女	3.変更	4.なし	5.要転院度
生活機能	1.日常生活 2.社会的 3.産業 4.文化			1.2.3.4.5
生活状況				
行動の変化	1.歩き回るのに問題がない 2.いくらか問題がある 3.足踏きである			
歩行の改善	1.歩くと改善される 2.いくらか問題がある 3.自分でできる。			
歩行の悪化	1.歩くと改善される 2.いくらか問題がある 3.自分でできない			
筋肉／筋力	1.正常 2.中程度 3.ひどい			
筋力／筋肉	1.正常 2.中程度 3.ひどく不ぞろい 4.筋力低下している			

■ 診断基準に関する事項

症状の概要、経緯、特徴すべき事項など

A. 認知障害 (該当する項目に印を記入する)			
-------------------------	--	--	--

(1) 必須項目：既往歴から過去に認知機能障害を認め、それらに上り直前生前の問題が認められている	1.該当 2.非該当 3.不明
(2) 必須項目：以下のような行動のうち2つ以上を満たす	1.該当 2.非該当 3.不明
□ 1) 公共場所で迷路を歩く 2) 既往でハーバーの如き 3) 術前に無分別無意図な行動	1.該当 2.非該当 3.不明
B. 開門行動：以下の3つの症状のうち2つ以上を満たす	1.該当 2.非該当 3.不明
□ 1) 他人との会話が減少する 2) 他人との会話が増加する 3) 他人との会話が消失する	1.該当 2.非該当 3.不明
C. 会話や会話を理解する能力：以下の2つの症状のうち2つ以上を満たす	1.該当 2.非該当 3.不明
□ 1) 他人との会話を理解する能力が減少する 2) 他人との会話を理解する能力が増加する	1.該当 2.非該当 3.不明
D. 行動・運動：以下の3つの症状のうち2つ以上を満たす	1.該当 2.非該当 3.不明
□ 1) 中程度の行動の変化 2) 身体的行動の変化 3) 中程度の運動の変化	1.該当 2.非該当 3.不明
E. 口言語機能や会話機能の変化：以下の3つの症状のうち2つ以上を満たす	1.該当 2.非該当 3.不明
□ 1) 会話機能の変化 2) 会話の音量・音調の変化 3) 会話の内容の変化	1.該当 2.非該当 3.不明
F. 情感心象の変化など：記憶や思考能の能力が著しく低下されているにも関わらず、進行度は進んでいない	1.該当 2.非該当 3.不明
G. 発達障害：既往歴から過去に認知機能障害が認められており、現在も認知機能障害が認められる	1.該当 2.非該当 3.不明
(4) 脳部検査所見：前頭側頭葉変性症とMRIでの萎縮、PET SPECTでの灌流の血流の低下がみられる （脳血管病変が原因と考えられるもの含む）	1.該当 2.非該当 3.不明

印　以下の中身を備考記入欄に記入する。

- アルツハイマー病 シグネット型認知症 血管性認知症
 老年性健忘症 大脳皮質梗塞型認知症 両側失認症
 うつなどの精神疾患 他疾患

L.全て該当可 L.該当不可3.不明

＜診断のカテゴリー＞

該当個数：(1)(2)(3)(4)(5)の全てを満たす

1.該当 2.非該当 3.不明

■ 治療と経過 (該当する項目に印を記入する)

対照毛色の必要

- 行動異常症 □ 前頭側頭型認知症 □ 血管性認知症 □ 血管性認知症性失語 □ 前頭側頭葉変性症 □ その他の(細型)

1.該当 2.非該当 3.不明

■ 治療その他 (該当する項目に印を記入する)

対照毛色の必要 対照毛色の必要 中心精神失調症 対照毛色の必要 対照毛色の必要 1.実施 2.未実施 3.不明

■ 重症分類に関する事項 (該当する項目に印を記入する)

- 0. 社会的に適応的行動を行える
□ 1. 他處、先感、行為の適切さに最も頻度高く明らかな変化
□ 2. 行為、態度、発達、行為の適切さにおいて、通常であるより明らかの変化
□ 3. 对人關係や社会的やり取りにおける影響を及ぼす中等度の行動変化
□ 4. 对人關係や社会的やり取りにおける影響を及ぼす高度の行動変化

1.該当 2.未実施 3.不明

■ 人工呼吸器に関する事項 (使用者のみ記入)

使用の有無	1.あり
導管の種類	声門　半　全
種類	1.呼吸切離：全く人工呼吸器　2.吸・呼マスク：全く人工呼吸器
施行状況	1.手術的：1.腹腔鏡による手術 2.内視鏡による手術 3.骨盆手術
生活機能	1.食事： □ 0.0 □ 1/2部分介助 □ 全介助 食事とヘッドリフト併用 <input type="checkbox"/> 0.0 □ 1/2部分介助 □ 全介助 □ 0.0 □ 1/2部分介助 不可 <input type="checkbox"/> トレイ動作 □ 0.0 □ 0部分介助 不可 <input type="checkbox"/> 歩行 □ 0.0 □ 0部分介助 不可 <input type="checkbox"/> 老齢 □ 0.0 □ 0部分介助 全介助 排泄コントロール： □ 0.0 □ 0部分介助 □ 全介助 <input type="checkbox"/> 排泄コントロール

医療機関名

施設医療場

医療機関所在地

高齢者

医療の氏名

印　記載年月日：平成　年　月　日　　※看護主または認知のこと
・既往歴に記載の既往歴、既往疾患を記載して、既往歴と同一のものではない場合など、いつもの既往歴のものを承めて記入する。
・既往歴に記載の既往歴と異なる既往歴を記載する場合は、既往歴の記載欄に記載して、既往歴と同一の既往歴を記載して、既往歴と異なる既往歴を記載する。
・既往歴に記載の既往歴と異なる既往歴を記載する場合は、既往歴の記載欄に記載して、既往歴と同一の既往歴を記載して、既往歴と異なる既往歴を記載する。
・既往歴に記載の既往歴と異なる既往歴を記載する場合は、既往歴の記載欄に記載して、既往歴と同一の既往歴を記載して、既往歴と異なる既往歴を記載する。

■ 基本情報

受診者番号	名前				
性別	姓(姓)				
郵便番号	住所				
生年月日	西暦 年 月 日	性別	1 男 2 女		
出生地・町村					
出産地氏名(複数ある場合は)	姓(姓)	名(姓)	姓(姓)	名(姓)	
就職歴	1. あり 2. なし 3. 不明				
家庭歴	家庭構成として、2.母子 3.夫婦(男性) 4.夫婦(女性) 5.既往 6.その他				
就寝時間	1. 普通 2. 異常 3. 不明				
生活の状況	1. 家庭 2. 職業 3. 学年 4. 不明				
移動の状況	1. 歩き回るのに問題がない 2. まくらや頭部がかかる 3. 運動 4. 不明				
心の状態の管理	1. 心配や感情等に問題がない 2. まくらや頭部がかかる 3. 運動 4. 不明				
ふらんの状況	1. 問題がない 2. まくらや頭部がかかる 3. 運動 4. 不明				
寝ぐらしがち	1. あり 2. なし 3. 中程度ある 4. 不明				
不快なしき込み	1. 問題がない 2. 中程度 3. ひどく不快である 4. しき込んでいる				

■ 診断基準に関する事項
症状の概要、経過、特記すべき事項など

A. 症状

1. 1歳未満	1. 慢性 2. 時間当 3. 不明
2. 大人用	1. 慢性 2. 時間当 3. 不明
3. 伸幅症候群発達段階	1. 慢性 2. 時間当 3. 不明
4. 肌筋肉下	1. 慢性 2. 時間当 3. 不明
5. 脊柱側弯症	1. 慢性 2. 時間当 3. 不明
6. ハピ・スク・筋膜性	1. 慢性 2. 時間当 3. 不明
7. 椎骨関節症	1. 慢性 2. 時間当 3. 不明
8. 咳下困難	1. 慢性 2. 時間当 3. 不明
9. 便秘障害	1. 慢性 2. 時間当 3. 不明
10. 三蓋式マッサージ	1. 慢性 2. 時間当 3. 不明
11. 運動失調	1. 慢性 2. 時間当 3. 不明
12. 骨折症合併	1. 慢性 2. 時間当 3. 不明
□ 就立位筋肉群 1. 初期筋肉群 2. 後期筋肉群 3. その他の	()
13. 痛み	1. 慢性 2. 時間当 3. 不明

B. 検査所見 (該当する項目に□を記入する)

検査項目	結果
1. 脊椎側弯症の有無と度数	1. 有り 2. なし 3. 不明
2. 肌筋肉下の有無と度数	1. 有り 2. なし 3. 不明
3. 三蓋式マッサージの有無と度数	1. 有り 2. なし 3. 不明
4. 伸幅症候群を作り難易度	□ 低・高・普通
5. 1. 通常の異常、基礎：以下、あるいはそれにみられる種々な体を伴う筋肉緊張を伴う	1. 慢性 2. 時間当 3. 不明
6. 便秘	□ 低・中程度
7. 透視検査を認める	1. 慢性 2. 時間当 3. 不明
□ 前屈運動 1. 前屈度直角 2. 前屈交叉 3. 前屈90° 4. 前屈100° 5. 小前屈状態 6. 前屈	

6. 下肢のアライメントを含む歩行：上級運動の仕事や発達まで歩幅を認めら 二輪車の操作による筋肉緊張の度数	1. 慢性 2. 時間当 3. 不明
7. 下肢筋肉群の持続的緊張	1. 慢性 2. 時間当 3. 不明

C. 伸筋子供以上における筋肉の持続的緊張

1. 運動子供 1. 時間当子供 2. 不明	1. 慢性 2. 時間当 3. 不明
2. 運動子供 1. 時間当子供 2. 不明	1. 慢性 2. 時間当 3. 不明

<診断のカテゴリー> 1型及び2型の両者の特徴を有する。確定診断例は1型、2型に準じる。

□ 呼吸筋肉群 C: 1. 慢性 2. 時間当 3. 不明	1. 慢性 2. 時間当 3. 不明
□ 頭部筋肉群 A: 1. 時間当 2. 不明	1. 時間当 2. 不明
□ 中頭部筋肉群 B: 1. 時間当 2. 不明	1. 時間当 2. 不明
□ 下頭部筋肉群 D: 1. 時間当 2. 不明	1. 時間当 2. 不明
□ 腹筋 E: 1. 時間当 2. 不明	1. 時間当 2. 不明

■ 重症度分類に関する事項

■ 重症度 Rankin Scale (mRS)
0. ほとんどない 1. 軽度でできる 2. 防止できた項目が何個かの人たち
□ 下肢ニューロ：もしも下肢筋肉による拘縮感、歩行の困難感、筋肉の存在、下肢反射の消失
□ 一時、舌・喉頭の構音障害などの口の筋肉の筋肉の弛緩

<診断のカテゴリー> 1型及び2型の両者の特徴を有する。確定診断例は1型、2型に準じる。

□ 呼吸筋肉群 C: 1. 時間当 2. 不明	1. 時間当 2. 不明
□ 頭部筋肉群 A: 1. 時間当 2. 不明	1. 時間当 2. 不明
□ 中頭部筋肉群 B: 1. 時間当 2. 不明	1. 時間当 2. 不明
□ 下頭部筋肉群 D: 1. 時間当 2. 不明	1. 時間当 2. 不明
□ 腹筋 E: 1. 時間当 2. 不明	1. 時間当 2. 不明

■ 重症度分類に関する事項 (使用者のみ記入)

■ 重症度 Rankin Scale (mRS)
0. ほとんどない 1. 軽度でできる 2. 防止できた項目が何個かの人たち
2. 食事や排泄のための手足を必要とする 3. 食事・排泄問題に何らかの介助を要する
4. 4時間以上の時間で排泄を自我不能とする 5. 全身的に何らかの実施問題に悩んでいる

■ 食事・栄養

0. ほとんどない 1. 軽度でできる 2. 防止できた項目が何個かの人たち	1. 時間当 2. 不明
2. 食事や排泄のための手足を必要とする 3. 食事・排泄問題に何らかの介助を要する	1. 時間当 2. 不明
4. 4時間以上の時間で排泄を自我不能とする 5. 全身的に何らかの実施問題に悩んでいる	1. 時間当 2. 不明

■ 人工呼吸器に関する事項 (使用者のみ記入)

■ 人工呼吸器
0. ほとんどない 1. 軽度でできる 2. 防止できた項目が何個かの人たち
2. 食事や排泄のための手足を必要とする 3. 食事・排泄問題に何らかの介助を要する
4. 4時間以上の時間で排泄を自我不能とする 5. 全身的に何らかの実施問題に悩んでいる

■ 食事・栄養

0. ほとんどない 1. 軽度でできる 2. 防止できた項目が何個かの人たち	1. 時間当 2. 不明
2. 食事や排泄のための手足を必要とする 3. 食事・排泄問題に何らかの介助を要する	1. 時間当 2. 不明
4. 4時間以上の時間で排泄を自我不能とする 5. 全身的に何らかの実施問題に悩んでいる	1. 時間当 2. 不明

■ 人工呼吸器に関する事項 (使用者のみ記入)

■ 人工呼吸器
0. ほとんどない 1. 軽度でできる 2. 防止できた項目が何個かの人たち
2. 食事や排泄のための手足を必要とする 3. 食事・排泄問題に何らかの介助を要する
4. 4時間以上の時間で排泄を自我不能とする 5. 全身的に何らかの実施問題に悩んでいる

■ 食事・栄養

0. ほとんどない 1. 軽度でできる 2. 防止できた項目が何個かの人たち	1. 時間当 2. 不明
2. 食事や排泄のための手足を必要とする 3. 食事・排泄問題に何らかの介助を要する	1. 時間当 2. 不明
4. 4時間以上の時間で排泄を自我不能とする 5. 全身的に何らかの実施問題に悩んでいる	1. 時間当 2. 不明

■ 人工呼吸器に関する事項 (使用者のみ記入)

■ 人工呼吸器
0. ほとんどない 1. 軽度でできる 2. 防止できた項目が何個かの人たち
2. 食事や排泄のための手足を必要とする 3. 食事・排泄問題に何らかの介助を要する
4. 4時間以上の時間で排泄を自我不能とする 5. 全身的に何らかの実施問題に悩んでいる

■ 食事・栄養

0. ほとんどない 1. 軽度でできる 2. 防止できた項目が何個かの人たち	1. 時間当 2. 不明
2. 食事や排泄のための手足を必要とする 3. 食事・排泄問題に何らかの介助を要する	1. 時間当 2. 不明
4. 4時間以上の時間で排泄を自我不能とする 5. 全身的に何らかの実施問題に悩んでいる	1. 時間当 2. 不明

■ 人工呼吸器に関する事項 (使用者のみ記入)

■ 人工呼吸器
0. ほとんどない 1. 軽度でできる 2. 防止できた項目が何個かの人たち
2. 食事や排泄のための手足を必要とする 3. 食事・排泄問題に何らかの介助を要する
4. 4時間以上の時間で排泄を自我不能とする 5. 全身的に何らかの実施問題に悩んでいる

■ 食事・栄養

0. ほとんどない 1. 軽度でできる 2. 防止できた項目が何個かの人たち	1. 時間当 2. 不明
2. 食事や排泄のための手足を必要とする 3. 食事・排泄問題に何らかの介助を要する	1. 時間当 2. 不明
4. 4時間以上の時間で排泄を自我不能とする 5. 全身的に何らかの実施問題に悩んでいる	1. 時間当 2. 不明

■ 人工呼吸器に関する事項 (使用者のみ記入)

■ 人工呼吸器
0. ほとんどない 1. 軽度でできる 2. 防止できた項目が何個かの人たち
2. 食事や排泄のための手足を必要とする 3. 食事・排泄問題に何らかの介助を要する
4. 4時間以上の時間で排泄を自我不能とする 5. 全身的に何らかの実施問題に悩んでいる

■ 食事・栄養

0. ほとんどない 1. 軽度でできる 2. 防止できた項目が何個かの人たち	1. 時間当 2. 不明
2. 食事や排泄のための手足を必要とする 3. 食事・排泄問題に何らかの介助を要する	1. 時間当 2. 不明
4. 4時間以上の時間で排泄を自我不能とする 5. 全身的に何らかの実施問題に悩んでいる	1. 時間当 2. 不明

■ 人工呼吸器に関する事項 (使用者のみ記入)

■ 人工呼吸器
0. ほとんどない 1. 軽度でできる 2. 防止できた項目が何個かの人たち
2. 食事や排泄のための手足を必要とする 3. 食事・排泄問題に何らかの介助を要する
4. 4時間以上の時間で排泄を自我不能とする 5. 全身的に何らかの実施問題に悩んでいる

■ 食事・栄養

0. ほとんどない 1. 軽度でできる 2. 防止できた項目が何個かの人たち	1. 時間当 2. 不明
2. 食事や排泄のための手足を必要とする 3. 食事・排泄問題に何らかの介助を要する	1. 時間当 2. 不明
4. 4時間以上の時間で排泄を自我不能とする 5. 全身的に何らかの実施問題に悩んでいる	1. 時間当 2. 不明

■ 人工呼吸器に関する事項 (使用者

■ 基本特征

登録番号	新規登録			登録者	新規登録		
被用件名				登録者			
被用件番号				登録者			
住所							
生年月日	西暦	年	月	日	性別	1 男 2 女	
郵便番号				姓(姓氏)	名(姓氏)	姓(姓氏)	
生年月日				姓(姓氏)	名(姓氏)	姓(姓氏)	
出生地名を、記入がある場合							
新規登録							
1. お父さん お母さん 下写真 登記者親父 し 父 母 子 女 1. 両親 (親父) 2. 両親 (女性) 3. 両親 (父女) 2. 祖母 (父母) 3. 祖父 (母母) 4. 祖母 (母母) 10. いとこ 11. その他 祖母							
電気料金	西暦	年	月				
社会保険	今後変化			要介護	1 なし 2 あり 3 あり以上	要介護度	1 なし 2 あり 3 あり以上 5 あり以上
生年死年							
飼育の歴史							
身・心の状態							
ふだんの行動							
通院・外来歴							
不適・ふしきじゆ							

■診断基準に関する事項

八、進步

発達段階	1.あり 2.なし 3.不明
1.エースムモード	1.あり 2.なし 3.不明
2.運動発達段階(Leuner) ^a	1.あり 2.なし 3.不明
3.既知概念群(既知概念)のcolorama	1.あり 2.なし 3.不明
4.既知概念群(既知概念)部分	1.あり 2.なし 3.不明
5.史密斯概念束(主として多才性問題) ^b	1.あり 2.なし 3.不明
6.野村問題(主として下等野球問題) ^c	1.あり 2.なし 3.不明
7.創造性問題(主に間ららしくは第二創造性問題)	1.あり 2.なし 3.不明
8.創造性問題	1.あり 2.なし 3.不明
支持的問題	
* 機会と順序のもの	1.あり 2.なし 3.不明
10.小規模未完成の既知概念	1.あり 2.なし 3.不明
11.左脳癡性問題(左半球脳死症候群)やーション・ハート形態	1.あり 2.なし 3.不明
12.全脳癡性問題(左半球脳死症候群)	1.あり 2.なし 3.不明
13.右脳癡性問題(右半球脳死症候群) + 全脳癡性問題	1.あり 2.なし 3.不明

1. 画像検索で探す場所を特定する

□ 直面 □ 前進 □ 機動 □ 背面 □ 遠征 □ 小幅擴充 □ 終點絕望
□ 亂世 □ 無盡奔跑 □ 特權者 □ その他()

2. 借り物の返却	3. 借り物の修理
届けで古い車の車検もしくは車両登録証明書が記入されたら、ヒヤノリスミー、新井田のザフレンツ → ハーツともうして車両登録がある。	I. 検査 2. 連絡 3. 修理
4. 借り物の修理 修理の際は修理料金を支払う。会員へ修理料金がかかる前の欠損にによる扣込、小切符等が記入される	I. 調査 2. 修理料 3. 不明

C. 简单分析

以下の症状を感知し、全て該当できる。症状でない場合は区を記入する。	1. 全て該当可 2.一部該当不可 3. 不明
□ 症状文書を作成: 小児麻痺 風疹 二重性ウイルス感染	

＜新規のカテゴリー＞

企画 (A-1, A-2, A-3) を実施し、さらに追次 (A-5, A-6, A-7, A-8) の順序で実施する。
1回目 2回目

■ 離婚裁判に委する事

△ G40 せんかん」の障害等級判定区分

イ、ロの発作が月に1回以上ある、またはハ、ニの発作が年に2回以上あ

イ、この発作が月に1回未満、

① 他人に危害を及ぼすタイプ
　イ、意図的攻撃性の高い、威嚇的行動を取る動作
　ロ、言論を失い、行為が過激化する、抑まない攻撃性
　ハ、意図的攻撃の危機を识别し、軽微する動作
二、音調障壁をなし、状況にそぐわない行為を示す動作

「精神症状・能力障害二重評価」 (2) 能力障害評価

□ 1. 情報収集で御用意を手配するべき。また、精神的、物理的情報を読み込み、日常生活における生活、生活は順調に進捗する。
□ 2. 順調な運営をめざす。次回もまた社会の運営に一歩の脚を運ぶ。
□ 3. 精神的運営。御用意を進め、次回もまた社会の運営に着目・脚を運んでおれ。你にして足踏みを防ぐとする。
□ 4. 精神的運営。御用意を読み、次回もまた社会の運営に着目・脚を運んでおり。運営次第を要する。
□ 5. 精神的運営。御用意を読み、身の運びで社会の運営に着目・脚を運んでおれ。

上記の精神保健福祉手帳診断基準における「G40 てんか

ける「精神的・能力障害二輪評価」(2) 能力障害評価で、次のいずれかに該当する

- 「G40 ～G49」の障害者が「重度」で、能動障害評価で～5を満たす
- 「G40 ～G49」の障害者が「中度」で、能動障害評価で～3を満たす

■ 人工呼吸器に関する取扱い(使用者のみ記入)

気温の高低	1. 低め	2. 高め	3. 平均
湿度の高低	1. 低め	2. 高め	3. 平均
風速の高低	1. 低め	2. 高め	3. 平均
日照時間の长短	1. 短め	2. 長め	3. 平均

施行規定 1.開挖的場面 2.後開挖土壤回填的場面 3.

生活機能	日常生活の動作 二重介助	車椅子シート面の操作	日常生活の動作 二重介助
坐姿	自立 自立の状態不可能	トイレ操作	自立 自立の状態不可能
歩行	自立 自立の状態不可能	歩行	自立 自立の状態不可能
階段昇降	自立 自立の状態二重介助	昇降	自立 自立の状態二重介助
排便コントロール	自立 自立の状態二重介助	排便コントロール	自立 自立の状態二重介助

125

此處應填寫
此處應填寫
此處應填寫
此處應填寫

印　　年月日：平成　年　月　日　　各項提出書類のこの
　　件は、本件に付記した書類に、必ず記載して置くこととする。それ以外のものも、適宜、記載する。
（ただし）本件に記載する書類は、原則として、前記のとおりである。
（ただし）前記のとおりに記載する書類は、原則として、前記のとおりである。
（ただし）前記のとおりに記載する書類は、原則として、前記のとおりである。
（ただし）前記のとおりに記載する書類は、原則として、前記のとおりである。
（ただし）前記のとおりに記載する書類は、原則として、前記のとおりである。

行動状況	1.間欠的発現 2.段階に階級別に発現 3.一貫の発現 4.完全な発現	
生活状況	食事 <input type="checkbox"/> 自立 <input checked="" type="checkbox"/> 二部分別化 <input type="checkbox"/> 全然自己 可能性とノット間の操作 着脱 <input type="checkbox"/> 自己 <input checked="" type="checkbox"/> 二部分別化不可能 <input type="checkbox"/> トレイ操作 入浴 <input type="checkbox"/> 自己 <input checked="" type="checkbox"/> 二部分別化不可能 <input type="checkbox"/> 浴槽 服脱着 <input type="checkbox"/> 自己 <input checked="" type="checkbox"/> 二部分別化不可能 <input type="checkbox"/> 着替え 清潔コントロール <input type="checkbox"/> 自己 <input checked="" type="checkbox"/> 二部分別化 <input type="checkbox"/> 全然自己 清潔コントロール	<input type="checkbox"/> 自己 <input checked="" type="checkbox"/> 二部分別化 <input type="checkbox"/> 全然自己 <input type="checkbox"/> 自己 <input checked="" type="checkbox"/> 二部分別化 <input type="checkbox"/> 全然自己 <input type="checkbox"/> 自己 <input checked="" type="checkbox"/> 二部分別化 <input type="checkbox"/> 全然自己 <input type="checkbox"/> 自己 <input checked="" type="checkbox"/> 二部分別化 <input type="checkbox"/> 全然自己 <input type="checkbox"/> 自己 <input checked="" type="checkbox"/> 二部分別化 <input type="checkbox"/> 全然自己 <input type="checkbox"/> 自己 <input checked="" type="checkbox"/> 二部分別化 <input type="checkbox"/> 全然自己
医療機関名	新宿区立病院	
医療機関住所	新宿区立病院	
医療機関の成績	未記載	
	印	記入年月日:平成 年 月 日
		※必ず記入せよ

・前回の記事で、おもに「新規感染者数」と「新規感染者率」について、データの意味についてお話ししました。
ただし、「新規感染者率」は少しおかしい tentangで、都道府県のものになります。
・新規感染者に対する感染率を分類でAでは、最初は「都道府県」での区分ですが、直近で「都道府県・県民登録地」の区別を記載しているので、
・新規感染者について、都道府県による区分が既に古くなっています。2020年5月は日本全体で最も新規感染者数を報告した
二週目でした。

122-1. 朱工部少卿白居易詩集卷之二十一。《白氏長慶集》卷之二十一。

□ 新規 □ 呼吸

第六章

登録者番号							
被験者番号		名前(姓)		性別		名前(姓)	
被験番号		住所					
生年月日	西暦 年 月 日	西暦 年 月 日		性別	L.男 R.女		
出生地住所		姓(姓)		名前(姓)		姓(姓)	
出生時氏名(変遷のある場合)		姓(姓)		名前(姓)		姓(姓)	
家族歴		L.あり R.なし C.不明					
		配偶者既婚 L.男 R.母 E.子 F.同胞(男性) G.同胞(女性) H.紅白(文化)					
		7.離婚(父方) 8.祖父(母方) 9.祖母(母方) 10.いとこ 11.その他 説明 ()					
既往歴		既往歴 年 月					
生活習慣		禁煙		飲酒		喫煙	
		禁煙		飲酒		喫煙	
生活状況		禁煙		飲酒		喫煙	
移動の歴史		1.歩き筋のところに迷ひない、 2.いくらか問題がある、 3.迷ひっきりである					
歩く筋の習性		1.直進で筋筋に入れる、 2.いくらか問題がある、 3.迷ひで生きる					
迷ひ入りの頻度		1.問題ない、 2.いくらか問題はある、 3.迷うことができない					
迷ひの感覚		1.全く、 2.中程度ある、 3.多く					
迷ひの大きさ込み		1.問題がない、 2.中程度、 3.全くない					

■ 診断基準に関する事項

症状の概要、経過、特記すべき事項など

10. The following table summarizes the results of the study.

A. 球狀

1. 開業登記文書があることは下記の順序	E. あり 2. なし 3. 不明
2. 会員登記	E. あり 2. なし 3. 不明
3. 顧客登記	E. あり 2. なし 3. 不明
4. 有価証券登記	E. あり 2. なし 3. 不明
5. 保険契約登記	E. あり 2. なし 3. 不明
6. 資本登記	E. あり 2. なし 3. 不明

B. 独立预见

1. 亂視の所見:T2強調側面で、白目に「慢性の角弓弓状吸収(屈筋性吸収)」の所見があるものが特徴である	1. 症狀 2. 症狀 3. 不明
2. 運行子解釈:RPE正常	1. 症狀 2. 症狀 3. 不明
3. 屈筋性吸収の目ないし屈筋羽翼の消失	1. 説明 2. 説明 3. 不明

＜診断のカテゴリー＞

Aのうち1を含む二つ以上とB-1に加え、B-2あるいはB-3を選択せよ男性

■ 重能度分類に関する事項

Cailloux らの分類(該当する項目に☑印を記入する)	
<input type="checkbox"/>	Feita 0 通常なし
<input type="checkbox"/>	Feita 1 常在まで呼吸 (2~4歳の群)
<input type="checkbox"/>	Feita 2 常在まで呼吸 (2~5歳の群)
<input type="checkbox"/>	Feita 3 常在まで呼吸 (0~2歳の群) %, 拮抗歩行まで可能
<input type="checkbox"/>	Feita 4 会員なし (群)

MAY 19, 1961

modified Rankin Scale (mRS)

- 0.まったく筋張がない。 1.左側はまつも明らかな痙攣がない。日常生活の面で問題はない。
- 2.筋肉の弛緩。筋筋的運動低下で日常生活に支障はない。自分の家の近くのところを歩くことができる。
- 3.左半身の麻痺。日常生活を支障するが、歩行は可能である。 4.半身不全から重症の麻痺。歩行や個別の機能回復が必要である。

★★★★★ 実業

- ①徹底なし 1時にせらる、食制御加減ごとにどの症候があるか、社会生活・日常生活に及ぼすか。
- ②食物制御の工人や、食制御の販売の工人を必要とする 本店・支店開拓にからめでかを要する。
- ③効率的な販賣の実施権 (通常実施、中心構成など) を必要とする 金額的に販賣の実施内規に取扱している。

[View Details](#)

■ 人工呼吸器に関する事項（使用者のみ記入）					
使用の有無	△あり				
導管の留置部位	直接　手　月			離脱の危険なし	
種類	1. 安全切端をもつ人工呼吸器　2. 麻酔マスクで回復マスクを介した人工呼吸器			1あり 2なし	
吸引装置	1. 呼吸機内、2. 回復マスク内吸引　3. 中央吸引　4. 病室中央吸引				
生食	口吸式	口部分吸式	全鼻吸式	制限なし・二重袋の併用	
整容	口吸式	口部分吸式不可	全鼻吸式	トライ操作	
入浴	口吸式	口部分吸式不可	全鼻吸式	進行	
陽圧呼吸	口吸式	口部分吸式	全鼻吸式	吸込式	
排便 kontroll	口吸式	口部分吸式	全鼻吸式	吸込式	
				排便 kontroll	

医療機関名	記載年月日	年 月 日	承印者または押印のこと
医療機関所在地	電話番号	()	
医師の氏名			

■ 基本情報

受診者番号								
姓(漢字)	吉川		史	ひづ	ひづ			
郵便番号	住所							
生年月日	西暦 年	月	日	性別	1男 2女			
出生地・現住所								
出生氏名	姓(漢字) 名(漢字) 氏(カタカナ) 名(カナ)							
家族歴	1. おき 2. なし 3. 不明 父母両親 1父 2母 3子 4同母(男性) 5同母(女性) 6祖父母(父) 7. 祖母(父) 8. 祖父(母) 9. 伯母(母) 10. いとこ 11. その他 12. 説明 ()							
既往歴	西暦 年 月							
生会員登録	会員登録	1. 是 2. 否 3. 未記入 4. なし	要介護度	1	2	3	4	5
生活状況								
歩行の状況	1. 歩き始めるに問題ない 2. いくぶん問題がある 3. ぎりぎりで歩ける 4. 自分でできない							
移動の管理	1. 乳幼児期より問題ない 2. いくぶん問題がある 3. 進行が止まる							
小便の運動	1. 問題ない 2. いくぶん問題がある 3. 行うことができない							
排尿・不快感	1. なし 2. 中程度ある 3. 強い							
不规则・不適応	1. 問題ない 2. 中程度 3. ひどく不规则でしきりがある							

■ 診断基準に関する事項
症状の概要、経過、特記すべき事項など

--	--	--	--	--

A. 症状

1. 乳幼児期より問題ないエトロジニア	1.あり 2.なし 3.不明
2. 便秘	1.あり 2.なし 3.不明
3. 運動発達遅延	1.あり 2.なし 3.不明
4. 小便の運動・体位・四肢の失調症状、空回り脚、小児期における尿路、膀胱障害、尿路結石など	1.該当 2.考慮済 3.不明
5. 他の障害：脳膜・シントニア	1.該当 2.考慮済 3.不明

B. 検査所見

1. MRI 画像所見：T2 強調像で、白質にびまん的高信号域(脱髓鞘変化)や軽度のもの(骨髄抑制)	1.該当 2.考慮済 3.不明
2. 脳脊液検査：正常	1.該当 2.考慮済 3.不明

<診断のカテゴリー>

A(うちLを含む)～C(とB-Lに加え、B-Lを満たす陽性および陰性)	1.該当 2.考慮済 3.不明
-------------------------------------	-----------------

■ 重症度分類に関する事項

Celleux らの分類(該当する項目に印を記入する)				
<input type="checkbox"/> Fets 0 通常健常なし				
<input type="checkbox"/> Fets 1 花輪まで発達(2-4歳の間に)				
<input type="checkbox"/> Fets 2 発達まで発達(2-5歳の間に)				
<input type="checkbox"/> Fets 3 発達に遅れ(1-2歳の間に) 1. 乳幼児期まで可能				
<input type="checkbox"/> Fets 4 乳幼児期に可能				

■ 基本情報

受診者番号								
姓(漢字)	吉川		史	ひづ	ひづ			
郵便番号	住所							
生年月日	西暦 年	月	日	性別	1男 2女			
出生地・現住所								
出生氏名	姓(漢字) 名(漢字) 氏(カタカナ) 名(カナ)							
家族歴	1. あり 2. なし 3. 不明 父母両親 1父 2母 3子 4同母(男性) 5同母(女性) 6祖父母(父) 7. 祖母(父) 8. 祖父(母) 9. 伯母(母) 10. いとこ 11. その他 12. 説明 ()							
既往歴	西暦 年 月							
生会員登録	会員登録	1. 是 2. 否 3. 未記入 4. なし	要介護度	1	2	3	4	5
生活状況								
歩行の状況	1. 歩き始めるに問題ない 2. いくぶん問題がある 3. ぎりぎりで歩ける 4. 自分でできない							
移動の管理	1. 乳幼児期より問題ない 2. いくぶん問題がある 3. 進行が止まる							
小便の運動	1. 問題ない 2. いくぶん問題がある 3. 行うことができない							
排尿・不快感	1. なし 2. 中程度ある 3. 強い							
不规则・不適応	1. 問題ない 2. 中程度 3. ひどく不规则でしきりがある							

■ 診断基準に関する事項
症状の概要、経過、特記すべき事項など

--	--	--	--	--

A. 症状

1. 乳幼児期より問題ないエトロジニア	1.あり 2.なし 3.不明
2. 乳脳の発育が少ない	1.あり 2.なし 3.不明
3. 精神発達遅延	1.あり 2.なし 3.不明
4. 小便の運動・体位・四肢の失調症状、空回り脚、小脳萎縮による尿路、膀胱障害、尿路結石など	1.該当 2.考慮済 3.不明
5. 他の障害：脳膜・シントニア、アトピー	1.該当 2.考慮済 3.不明

B. 検査所見

1. MRI 画像所見：T2 強調像で、白質にびまん的高信号域(脱髓鞘変化)や軽度のもの(骨髄抑制)	1.該当 2.考慮済 3.不明
2. 脳脊液検査：正常	1.該当 2.考慮済 3.不明

<診断のカテゴリー>

A(うちLを含む)～C(とB-Lに加え、B-Lを満たす陽性および陰性)	1.該当 2.考慮済 3.不明
-------------------------------------	-----------------

■ 重症度分類に関する事項

Celleux らの分類(該当する項目に印を記入する)				
<input type="checkbox"/> Fets 0 通常健常なし				
<input type="checkbox"/> Fets 1 花輪まで発達(2-4歳の間に)				
<input type="checkbox"/> Fets 2 発達まで発達(2-5歳の間に)				
<input type="checkbox"/> Fets 3 発達に遅れ(1-2歳の間に) 1. 乳幼児期まで可能				
<input type="checkbox"/> Fets 4 乳幼児期に可能				

modified Rankin Scale (mRS)

- 0.まったく症状がない。 1.日常生活にあっても明らかな障害がない。(日常生活に何障害もない)
- 2.軽度の障害：日常生活に何かかれてるけれどもまだ生活できる。自分の行動によっては自己管理ができる
- 3.中度の障害：自分の行動を必要とする。自分で行動しないと生活ができない
- 4.重度の障害：日常生活に必要な行動を必要とする。自分で行動しないと生活ができない

夫婦・家族

- 0.健常なし 1. 既にわざら、食事動作がさうめんなどの運動があるが、社会生活・日常生活に支障はない。
- 2.軽度の障害：日常生活に何かかれてるけれどもまだ生活できる。自分の行動によっては自己管理ができる
- 3.中度の障害：日常生活に必要な行動を必要とする。自分で行動しないと生活ができない
- 4.重度の障害：日常生活に必要な行動を必要とする。自分で行動しないと生活ができない

所属

- 0.健常なし 1. 乳幼児の低下などの所持がある。社会生活・日常生活に支障はない。 2. 呼吸器疾患のために必要な医療行為がある
3. 乳幼児の弱弱：日常生活動作で思慮深いものがある。社会生活・日常生活に支障がある
4. 乳幼児の弱弱：日常生活動作で思慮深いものがある。社会生活・日常生活に支障がある

■ 人工呼吸器に関する事項(使用者のみ記入)

使用有無	なし		
開始時	年　月	離脱の込み	1.あり 2.なし
種類	1. 人工呼吸器をした人工呼吸器 2. 鼻マスク又は頭マスクをした人工呼吸器		
施行状況	1.継続的施行： 2. 期間的に断続的に施行： 3. 一日中施行 4. 半日半步行		
生活状況	1. 事務 2. 口部分小助 3. 全介助 3. 乗客 4. 口部分小助 5. 不可能 5. 入浴 6. 口部分小助 7. 不可能 7. 服薬 8. 口部分小助 9. 不可能 9. 排泄 10. 口部分小助 11. 全介助	10. 乗車椅子 11. 口部分小助 12. 全介助 12. トイレ動作 13. 全介助 13. 入浴 14. 口部分小助 15. 全介助 15. 服薬 16. 口部分小助 17. 全介助 17. 排泄コントロール 18. 口部分小助 19. 全介助	19. 乗車椅子 20. 口部分小助 21. 全介助 21. トイレ動作 22. 全介助 22. 入浴 23. 口部分小助 24. 全介助 24. 服薬 25. 口部分小助 26. 全介助 26. 排泄コントロール 27. 口部分小助 28. 全介助

医療機関名

指定医師番号

医師の氏名

- 印　記載欄用印：平成　年　月　日　※自筆または押印のこと
- ・専門機器による検査結果、既往歴等に於て、必ず各欄に記載せよ。明記せば、いつかの使用のものも記しておいて貰ふ事あり。
- ただし、ご自身の手書きで記入する場合は、必ず複数箇所に記入して、複数箇所で複数回記入して下さい。
- ・印鑑捺印は必ず専用印にて下さい。既往歴等に於て、必ず各欄に記載せよ。下記の手書きで複数箇所に記入して下さい。
- ・記載欄は、専用印にて下さい。専用印が記載できない場合は、専用印にて下さい。専用印にて下さい。専用印にて下さい。
- ・専用印にて下さい。専用印にて下さい。専用印にて下さい。専用印にて下さい。

modified Rankin Scale (mRS)

- 0.まったく症状がない。 1.日常生活にあっても明らかな障害がない。(日常生活に何障害もない)
- 2.軽度の障害：日常生活に何かかれてるけれどもまだ生活できる。
- 3.中度の障害：日常生活に必要な行動を必要とする。自分で行動しないと生活ができない
- 4.重度の障害：日常生活に必要な行動を必要とする。自分で行動しないと生活ができない

夫婦・家族

- 0.健常なし 1. 既にわざら、食事動作がさうめんなどの運動があるが、社会生活・日常生活に支障はない。
- 2.軽度の障害：日常生活に何かかれてるけれどもまだ生活できる。自分の行動によっては自己管理ができる
- 3.中度の障害：日常生活に必要な行動を必要とする。自分で行動しないと生活ができない

所属

- 0.健常なし 1. 乳幼児の低下などの所持がある。社会生活・日常生活に支障はない。 2. 呼吸器疾患のために必要な医療行為がある
3. 乳幼児の弱弱：日常生活動作で思慮深いものがある。社会生活・日常生活に支障がある
4. 乳幼児の弱弱：日常生活動作で思慮深いものがある。社会生活・日常生活に支障がある

■ 人工呼吸器に関する事項(使用者のみ記入)

使用有無	なし		
開始時	年　月	離脱の込み	1.あり 2.なし
種類	1. 人工呼吸器をした人工呼吸器 2. 鼻マスク又は頭マスクをした人工呼吸器		
施行状況	1.継続的施行： 2. 期間的に断続的に施行： 3. 一日中施行 4. 半日半步行		
生活状況	1. 事務 2. 口部分小助 3. 全介助 3. 乗客 4. 口部分小助 5. 不可能 5. 入浴 6. 口部分小助 7. 不可能 7. 服薬 8. 口部分小助 9. 不可能 9. 排泄 10. 口部分小助 11. 全介助	10. 乗車椅子 11. 口部分小助 12. 全介助 12. トイレ動作 13. 全介助 13. 入浴 14. 口部分小助 15. 全介助 15. 服薬 16. 口部分小助 17. 全介助 17. 排泄コントロール 18. 口部分小助 19. 全介助	19. 乗車椅子 20. 口部分小助 21. 全介助 21. トイレ動作 22. 全介助 22. 入浴 23. 口部分小助 24. 全介助 24. 服薬 25. 口部分小助 26. 全介助 26. 排泄コントロール 27. 口部分小助 28. 全介助

医療機関名

指定医師番号

医師の氏名

- 印　記載欄用印：平成　年　月　日　※自筆または押印のこと
- ・専門機器による検査結果、既往歴等に於て、必ず各欄に記載せよ。明記せば、いつかの使用のものも記しておいて貰ふ事あり。
- ただし、ご自身の手書きで記入する場合は、必ず複数箇所に記入して、複数箇所で複数回記入して下さい。
- ・印鑑捺印は必ず専用印にて下さい。既往歴等に於て、必ず各欄に記載せよ。下記の手書きで複数箇所に記入して下さい。
- ・専用印にて下さい。専用印にて下さい。専用印にて下さい。専用印にて下さい。
- ・専用印にて下さい。専用印にて下さい。専用印にて下さい。専用印にて下さい。